

『ハリガリ』のゲーム作者シャフィル氏の反応と集中のゲーム！ カードの色に一致したモチーフの名前(赤=イチゴ、青=ゾウ、黄=バナナ、茶=ココア)を素早く言うゲーム

Schnattergei

作:ハイム・シャフィル

# おしゃべりなオウム

年齢: 6歳位~ 人数: 2~4人 時間: 約15分位



AMIGO社(ドイツ) 輸入元:株式会社エルフ

\* (株)エルフがルールを理解しやすいように補足して訳しています。

## カードの種類

カード110枚: 7種の絵柄と4種の色(赤・黄・青・茶)



イチゴ バナナ ゾウ ココア にんじん パプリカ おしゃべりオウム

ゾウ: 14枚(赤・青・茶×各4, 黄×2) その他: 各16枚(4色×各4)

## ゲームのあらすじ

赤いゾウ? そうか「イチゴ!」合っているでしょ? カードを出す時は、**カードの色と一致した「モチーフの名前」**を言っておしゃべりな人たちに惑わされないようにしましょう。そして「ダブルカード」に注意しましょう。なぜなら一番気づいた人が場のカードを全部もらう事ができるからです。最後に最も多くカードを持っている人が勝者です。

\* カードの色と一致したモチーフの名前: 赤=イチゴ 青=ゾウ 黄=バナナ 茶=ココア

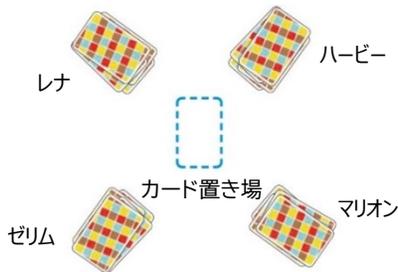
## ゲームの準備

全てのカードをよく混ぜ各プレイヤーに25枚ずつ配ります。残りのカードは箱に戻します。

配られたカードを自分の山札として自分の前に裏向きに置きます。カードは見えてはいけません。

テーブルの真ん中をカード置き場として空けておきます。

<4人でプレイする場合>



## ゲームの遊び方

- ・誕生日が一番近い人から時計回りにプレイします。
- ・手番の時、自分の山札の一番上のカードをカード置き場に表に向けて出します。
- ・全てのプレイヤーはこのカード置き場にカードを出していきます。

**注意:** カードは必ず表に向けて出します。

絵柄が全員同時に確認できるよう

カードはできるだけ早く表に向けてください。



\* カードを表にするときは、自分の反対側から

開くようにして他のプレイヤーより先に絵を見ることができないようにします。

・プレイヤーは、出されたカードによって次のルールに従い遊びましょう。

## 【モチーフの名前】

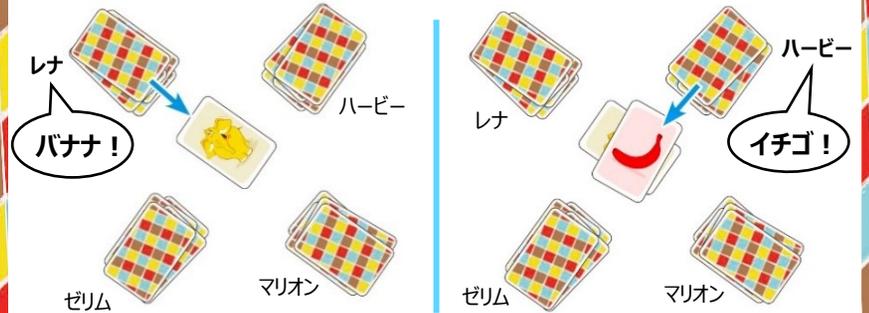
手番でカードを出したら、そのカードの**色**と一致するモチーフの名前を、素早く言わなくてはなりません。

**注意:** 大抵はカードに描かれた絵柄と違います。

どの色の時になんと云えばいいのでしょうか?

**赤=「イチゴ」 青=「ゾウ」 黄=「バナナ」 茶=「ココア」**

「にんじん」と「パプリカ」はひっかけです。言わないように!



例1: レナは黄色のゾウのカードを出しました。黄色のカードなので彼女はすぐに「バナナ」と言いました。次にハービーの番です。彼は赤色のバナナのカードを出して素早く「イチゴ」と言いました。カードは赤色なので正しいです。

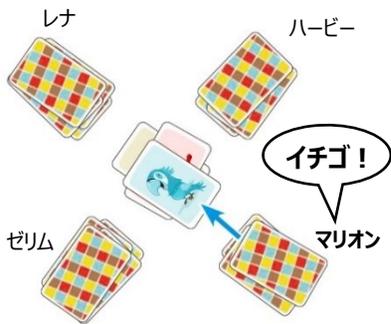
## 【おしゃべりオウム】



おしゃべりオウムは特別なカードです。おしゃべりオウムカードが出たら、その色と一致するモチーフの名前を**言ってはいけません**。その代わりにオウムの色と関係がなく、前の人が出した名前を(おしゃべりなオウムが繰り返して話すように)言わなくてはなりません。

例2: マリオンは青のおしゃべりオウムカードを出しました。彼はハービーが言ったことを真似て、同じように「イチゴ」と言わなくてはなりません。

カード置き場の1枚目がおしゃべりオウムカードの時は、(前の人がないので)色と一致するモチーフの名前を言います。



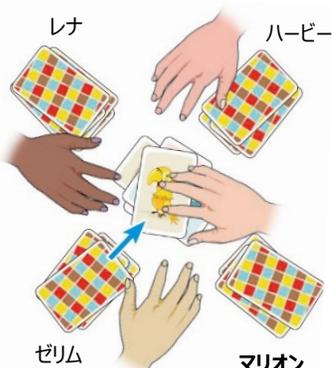
## 【ダブルカード】

カード置き場に同じ絵柄が、色に関係なく2枚続けて置かれたら「ダブルカード」です。さあ全プレイヤーの出番! できるだけ早くカード置き場の山に手をのばしましょう。あなたは一番早かったですか?

早かった人がカード置き場にあるカードを全てもらうことができ、自分の山札の下に加えます。そして自分の山札からカードを1枚、カード置き場に置いてゲームを続けます。

**注意:** 「ダブルカード」になった時は、色に一致するモチーフの名前を言う必要はありません。たとえ間違っ言ってしまったも失敗とはみなされません。

例3: マリオンが出したおしゃべりオウムカードの次に、ゼリムもまた、おしゃべりオウムカードを出しました。これは「ダブルカード」です! マリオンは素早く気が付き、一番早くカード置き場に手を置きました。彼はカード置き場のカードを全てもらい、自分の山札の下に加えました。そして新たに自分の山札の一番上のカードを1枚表にしてカード置き場に出しました。



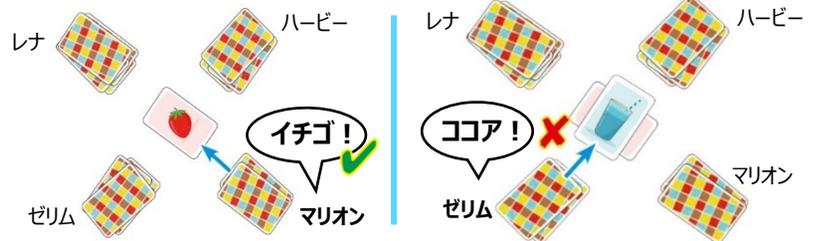
## 【ペナルティについて】 次の場合はペナルティになります。

- ・間違っ名前を言ってしまった
- ・「ダブルカード」ではない時に、カード置き場に手を置いてしまった
- ・不当に他のプレイヤーの間違いを指摘してしまった
- ・正しい名前を言うのに長い時間ためらってしまった

補足: 時間を計るためにストップウォッチを使う必要はありません。

あまりにも長い時間ためらったと思ったらペナルティと認めましょう。

間違い等をしたプレイヤーは、ペナルティとして自分の山札の上から2枚をカード置き場の一番下に加えます。そして新たに山札から1枚をカード置き場に置いて、通常通りゲームを続けます。



例4: マリオンが新たにカードを出し、正しく名前を言ってゼリムの番です。彼は青のココアのカードを出し、「ゾウ」と言わなくてはならないところを間違っ「ココア」と言ってしまった。間違っ名前を答えたペナルティとして、彼は自分の山札の上から2枚を、カード置き場の山の下の下に加えました。そして新たに山札から1枚をカード置き場に置いてゲームを続けます。

## ゲームの終了

誰か1人のカードが無くなったらゲームは終了です。が、最後のカードを出してしまっても終わりではありません。カードを出す手番は飛ばされますが、「ダブルカード」でカード置き場のカードを獲得すれば通常通りゲームを続けられます。ただし他のプレイヤーがカード置き場のカードを獲得したり、自分がペナルティをしまったりすると、そこでゲームが終了します。各自カードを数えて、最も多く持っている人が勝者です。同数の場合は、複数勝者となります。

**2人で遊ぶ場合は、**一方のプレイヤーが最後のカードを出した時点でゲームは終了となり、もう一方のプレイヤーが勝者となります。

もっと挑戦したいですか? それでは次の追加ルールで遊んでみてください。いずれも、カード置き場に手をのばします。

黄のゾウが出た時

同じ物の名前が4回連続した時